

民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 中村 清志

- I 開催年月日 平成 31 年 3 月 18 日（月）
II 会議時間 午前 10 時 00 分～午後零時 41 分
III 出席委員等 〔出席委員〕◎中村 清志 ○曾田 康司 瀬川 侑希
山口 泰祐 石須 大雄 藪中 一夫
吉田 健太郎 本田 利麻 高畠 義一
（◎…委員長、○…副委員長）
〔議長〕 狩野 安郎
〔副議長〕 坂林 永喜
〔説明員〕 別紙名簿のとおり（吉田警防課長は病気のため欠席）
〔委員外議員〕 酒井 善広 福井 直樹
〔事務局職員〕 安東 浩志 松本 武司 柚原 規泰
関本 尚彦
〔傍聴者〕 なし

IV 審査の概要

1 付託議案について

- | | |
|----------|---|
| 議案第 1 号 | 平成 31 年度高岡市一般会計予算のうち本委員会所管分 |
| 議案第 2 号 | 平成 31 年度高岡市国民健康保険事業会計予算 |
| 議案第 6 号 | 平成 31 年度高岡市介護保険事業会計予算 |
| 議案第 7 号 | 平成 31 年度高岡市後期高齢者医療事業会計予算 |
| 議案第 8 号 | 平成 31 年度高岡市高岡市民病院事業会計予算 |
| 議案第 12 号 | 高岡市役所支所設置条例及び高岡市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例 |
| 議案第 20 号 | 高岡市ふれあい福祉センター条例の一部を改正する条例 |
| 議案第 21 号 | 高岡市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例 |
| 議案第 22 号 | 高岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 |
| 議案第 23 号 | 高岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 |
| 議案第 24 号 | 高岡市介護保険条例の一部を改正する条例 |
| 議案第 25 号 | 高岡市民病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 |
| 議案第 39 号 | 高岡市男女平等推進センター条例の一部を改正する条例 |

議案第 40 号	高岡市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例
議案第 60 号	高岡市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例
議案第 61 号	高岡市斎場条例の一部を改正する条例
議案第 62 号	高岡市二上霊苑条例の一部を改正する条例
議案第 76 号	工事請負契約の締結について （（仮称）新高岡ストックヤード建設工事）
議案第 79 号	平成 30 年度高岡市一般会計補正予算（第 4 号）のうち本委員会所管分
議案第 80 号	平成 30 年度高岡市国民健康保険事業会計補正予算（第 2 号）
議案第 82 号	平成 30 年度高岡市介護保険事業会計補正予算（第 3 号）
議案第 83 号	平成 30 年度高岡市後期高齢者医療事業会計補正予算（第 2 号）
及び	
議案第 84 号	平成 30 年度高岡市高岡市民病院事業会計補正予算（第 2 号）

以上、予算議案 5 件、条例議案 12 件、その他議案 1 件及び補正予算議案 5 件の計 23 件について、審査の結果、全会一致でいずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑は次のとおり。〉

（以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示）

【議案第 1 号のうち、地域介護・福祉空間整備等補助金について】

- 地域介護・福祉空間整備等補助金の詳細は。
- △ 高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、地域密着型サービスを設置するために補助金を交付するものである。平成 31 年度は、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所と看護小規模多機能型居宅介護事業所という 2 施設に対する整備補助を予定している。
- 看護小規模多機能型居宅介護とは何か。
- △ 「通い」を中心に、利用者の態様や希望に応じて、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせ入浴、排せつ、食事等の介護その他日常生活上の世話及び機能訓練を受けるサービスが、小規模多機能型居宅介護であり、その内容に訪問看護を組み合わせ受けるサービスが、看護小規模多機能型居宅介護である。
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護とは何か。
- △ 日中・夜間を通じて、訪問介護員等による定期巡回訪問及び訪問看護を行うとともに、利用者からの通報により、電話による応対や訪問など随時の対応を行うサービスである。
- 具体的な設置場所は決まっているのか。
- △ 今後事業者の公募を実施することとしており、具体的な設置場所は未定である。

【議案第 1 号のうち、障害者自立支援費について】

- 障害者自立支援費を拡充するとのことであるが、訓練等の支援サービスは拡充するのか。
- △ 介護・訓練等給付費は平成 30 年度と同様であるが、障害者生活支援事業費については、31 年度から新たに人工内耳装用者の電池購入費を助成対象とし、拡充を図る。

【議案第 1 号のうち、障害児通所等支援事業費について】

- 障害児通所等支援事業費が平成 30 年度から約 1 億円増額となっているが、延べ利用見込み人数は何人増えたのか。また、支援内容は。
- △ 30 年度に放課後等デイサービス事業所が 1 カ所開設となったことが予算の増額要因である。延べ利用見込み人数は、平成 30 年度が 5,236 人、31 年度が 5,926 人となっており 690 人増加した。また、障害児通所等支援事業のサービス内容については、就学前の子どもたちに日常生活の基本的な動作訓練や集団生活に対応するための訓練を行う「児童発達支援」、肢体不自由の子どもたちに発達支援や治療を行う「医療型の児童発達支援」、学校に通っている子どもたちに授業の終了後や夏休みの間、必要な訓練や交流事業を行う「放課後等デイサービス事業」、さらに、支援員が保育所等に訪問し、集団生活への適応のための支援を行うサービスがある。この中でも、放課後等デイサービスの利用者が現在伸びている状況にある。
- 放課後等デイサービス事業が増えているということであるが、市内には何か所あるのか。
- △ 市内に 23 カ所ある。平成 29 年度に 3 カ所、30 年度に 1 カ所増え、利用者数も増加傾向である。

【議案第 1 号のうち、地域型保育給付費について】

- 地域型保育給付費について、事業所内保育に 7,400 万円とのことであるが、具体的に予定している保育園はどこか。
- △ 済生会高岡病院が設置する「なでしこ保育園」である。
- 建物を無償貸付する済生会高岡病院に対し、地域型保育給付費も給付するのか。
- △ 地域型保育給付費は、運営に関する助成であり、他の園が同内容の事業を行う場合にも同割合で給付される。
- 利用者は、済生会高岡病院に勤務する従業員の子どものだけなのか。
- △ 近隣の企業等に勤務されている方の 0 歳から 2 歳までの子どもを地域枠として預かると伺っており、病院に勤務する従業員の子どものみではない。
- 募集人数及び病院従業員枠、地域枠の内訳は把握しているのか。
- △ 募集人数は 20 人から開始すると伺っているが、内訳は把握していない。
- 高岡市民病院でも事業所内保育を整備してもらいたい。（要望）

【議案第 1 号のうち、子育て支援連携推進事業費について】

- 子育て支援連携推進事業費の詳細は。
- △ 子育て支援センターに係る事業費である。市内には、御旅屋セリオ 8 階に「高岡子育て支援センター」、福岡健康福祉センター内に「福岡子育て支援センター」、万葉なかよし保育園内に「万葉なかよし保育園子育て支援センター」の 3 カ所があり、

未就園児の交流や子育てに関する講座の実施を通じ、子育て支援を行っている。年度に応じて増減はあるが、来所数は順調に伸びている。平成 29 年度には子ども・子育て基金を活用して、親子で絵本に親しむことができるコーナー「たっち絵本ひろば」を開設し、利用促進を図っている。

○ 本市は、子育て満足度日本一を目指しているが、子育て支援連携推進事業費は、増額したのか。

△ 子育て支援連携推進事業費は、30 年度とほぼ同額である。その他の保育施策に係る予算も合わせて、子育て満足度日本一を目指していく。

【議案第 1 号のうち、市民ふれあい入浴事業補助金について】

○ 市民ふれあい入浴事業補助金の減額要因は。

△ 平成 30 年度、31 年度と段階的に減額させていただいた。

○ 市民ふれあい入浴事業は、世代間交流や家族のふれあいを目的としたものと理解しているが、当該事業に加入していない入浴施設もあり、実施日の前後で客数の減少等影響があるという話も伺っている。そうした状況も踏まえ、事業者に配慮しながら、今後の内容を精査いただきたい。(要望)

【議案第 1 号のうち、斎場費について】

○ 高岡斎場にある式場の利用実績は。

△ 平成 26 年度 11 件、27 年度 23 件、28 年度 17 件、29 年度 31 件、30 年度は 3 月 18 日現在で 21 件の利用となっている。式場を所有していない業者が主に利用している状況である。

○ 利用実績が低いと感じる。市民と市政の活用等により具体的な使用料金を周知するなど、高岡斎場の式場を有効活用し、市の歳入を増やす努力をお願いしたい。(要望)

【議案第 1 号のうち、ストックヤード整備事業費について】

○ 財政難の中、平成 31 年度に新ストックヤードを建設する必要はあるのか。

△ この事業については、環境省の循環型社会形成推進交付金を活用し、29 年度、30 年度に解体、31 年度にストックヤードを建設する 3 カ年度の継続事業となっている。

【議案第 1 号のうち、博労分団器具置き場移転改築事業費について】

○ 財政難の中、平成 31 年度に博労分団器具置き場を建て替える理由は。

△ 博労分団の器具置き場については老朽化が進んでおり、市街地という立地も考慮し、いずれ現在地での建て替えを実施したいという考えがあった。こうした中、今般、近くにある清水町共同調理場の跡地を活用できるという話があり、検討を進めた。財政的には、地方交付税措置がある緊急防災事業債を充当できる利点、また、移転のため、工事期間中における現在地での仮設対応等が不要となり費用を抑えられる利点があり、31 年度の事業開始を判断したものである。

【議案第 2 号のうち、保険給付費等交付金について】

- 平成 30 年度における保険給付費等交付金の中の保険者努力支援制度の予算額は。
- △ 5,893 万 5 千円である。
- 保険給付費等交付金の保険者努力支援分は、インセンティブを与え、保険者の医療費適正化に向けた取り組みを促す制度であると理解している。交付金額の算定に影響する評価指標のうち、本市が特に力を入れている項目は。
- △ 検診車両の効率的な活用によるがん検診や、特定健康診査の受診率向上などに力を入れている。
- 交付金額の算定に影響する評価指標は、国において、毎年見直されると仄聞している。受け取る交付金を増やすためには、戦略的に力を入れる評価指標を決め、取り組むべきと考えるが、見解は。
- △ 本市としては、がん検診や特定健康診査の受診率向上などに力を入れている。市民の健康が向上すれば、医療給付費を抑えることができ、国民健康保険事業会計の安定的な運営に資すると考える。

【議案第 6 号のうち、一般介護予防事業費について】

- 一般介護予防事業費が、平成 30 年度当初予算と比較して減額となっているが、31 年度の取り組みに対する考えは。
- △ 30 年度からスタートしている第 7 期介護保険事業計画においては、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることを目指している。身体機能の維持や低下を防ぐための運動を取り入れた教室を立ち上げ、高齢者が身近に通える場を創設することで、介護予防による自立支援・重度化防止に力を入れることとしている。
- 市民の健康寿命を延ばすという観点からも介護予防は重要であり、事業の充実をお願いしたい。(要望)

【議案第 8 号のうち、補助金について】

- 平成 30 年度当初予算と比較した、一般会計及び富山県からの補助金額は。
- △ 31 年度当初予算における一般会計からの補助金額は、総額で 9 億 1,299 万 4 千円であり、30 年度当初予算比で約 1 億 2,800 万円の増額となっている。これは、これまで補正予算対応であった救急医療補助金及び高度医療補助を当初予算に組み込んだためであり、通年比較では、767 万円の減額となっている。また、県からの補助金は 30 年度と同程度の 2,337 万円を見込んでいる。
- 一般会計からの補助金額が減った理由は。
- △ 企業債償還利子の減少により補助金額が減少したものである。

【議案第 79 号のうち、消防施設整備費について】

- 消防施設整備費の減額補正は、財政難の理由もあり消防本部庁舎の改築を延期することであるが、市民の安全と安心のためには避けられない費用と考えるが、見解は。
- △ 具体的な年次は決まっていないが、財政健全化緊急プログラム終了後の 2023 年度から改築工事を進めたいという思いはある。

- 財政健全化緊急プログラムの推進は応援しているが、行政として、市民の安心・安全を守る責務がある。プログラム期間終了後ではなく、時期を前倒し、平成 31 年度の補正予算で対応するなど、早い工事着手を強く要望する。
- △ 基本計画の試算において、現在地で改築するため、想定していた 3 年よりも工期が長くなることが分かり、消防本部の運営についても再計画が必要となったことから、改築を延期した。消防本部は拠点施設であることは十分認識しており、今後しっかり対応したい。

2 報告事項について

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔福祉保健部〕

- (1) 高岡市自殺対策行動計画について
- (2) 地域福祉のあり方に関する報告書について

〈 委員から、次の質疑があった。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

【地域における担い手について】

- 高岡市自殺対策行動計画では、自殺対策を支える人材としてゲートキーパーの養成、また、地域福祉のあり方に関する報告書においては、新たな支え手の確保という文言があるが、どういう人にこれらの役割を担ってもらいたいのか。
- △ いずれについても、我がまち、我がごととして考えていただきたい。地域福祉のあり方に関する報告書では、地域における必要な機能を整理しており、各地域の現状と照らし合わせ、チェック項目として活用いただきたいと考えている。これまでの行政主体ではなく、各地域の方々との話し合いを通じて、必要な機能を一緒に考えたい。
- 地域においては、一部の人に役割が集中し、負担が増えてしまう懸念がある。より多くの人に役割を担ってもらうための取り組みは。
- △ 一人が複数の役割を担っても機能すれば問題ないが、高齢化が進む状況においては、役割を分担するのが基本だと考える。その点についても地域に入り、相談したい。
- しっかりと話を聞き、きめ細かな対応をお願いしたい。（要望）

【自殺対策について】

- 高齢者の自殺要因に、孤独死は含まれているのか。

- △ 発見時の状況において自殺と特定された場合には、含まれる。
- 自殺者の内訳で高齢者が多い主な理由は。
- △ 離職や失業、また、介護の悩みや病気・体調不良等による生活苦が主な要因と考えている。
- 生活苦ということであれば、税金や医療費が滞納状況にあるなど、自殺に至る前に兆候が見られると思うが、民生委員や市職員の見守り体制強化に向けた対策は。
- △ 見守りや市民サービスにおいて、自殺という最悪の事態を想定し、接し方や話し方に注意を払う必要があり、そうした体制づくりを心がけたい。

〔市民病院〕

- 高岡市民病院第Ⅳ期中期経営計画の点検・評価及び公表について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

〔消防本部〕

- 平成 31 年春季火災予防運動実施要領について

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

3 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第 104 条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

4 その他

- 次回の常任委員会の開催について

4 月 12 日(金)午前 10 時に開催することが報告された。

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

〈 当局からの報告はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（24名）

市民生活部長	森 田 充 晴	市民病院長	遠 山 一 喜
市民生活部次長 地域安全課長・環境政策室長	笹 島 永 吉	市民病院事務局長	崎 安 宏
共創まちづくり課長	室 谷 智	総務課長	赤 阪 典 子
共創まちづくり課 多文化共生室長	寺 口 昌 代	医事課長	長 田 由 美 子
男女平等・共同参画課長	長 澤 雅 春		
市民課長	山 本 美 由 紀	消防長	寺 口 克 己
環境サービス課長	柴 野 泰 彦	消防本部次長	酒 井 克 志
		総務課長	浦 島 章 浩
福祉保健部長	吉 澤 実	予防課長	山 口 喜 代 治
福祉保健部次長 参事	西 本 幸 夫	警防課長	吉 田 就 彦
社会福祉課長	山 本 真 弘	通信指令課長	有 澤 智 文
子ども・子育て課長 保育・幼稚園室長	村 上 彰		
高齢介護課長	大 江 菜 穂 子		
保険年金課長	徳 市 直 之		
健康増進課長	上 見 弘 昭		